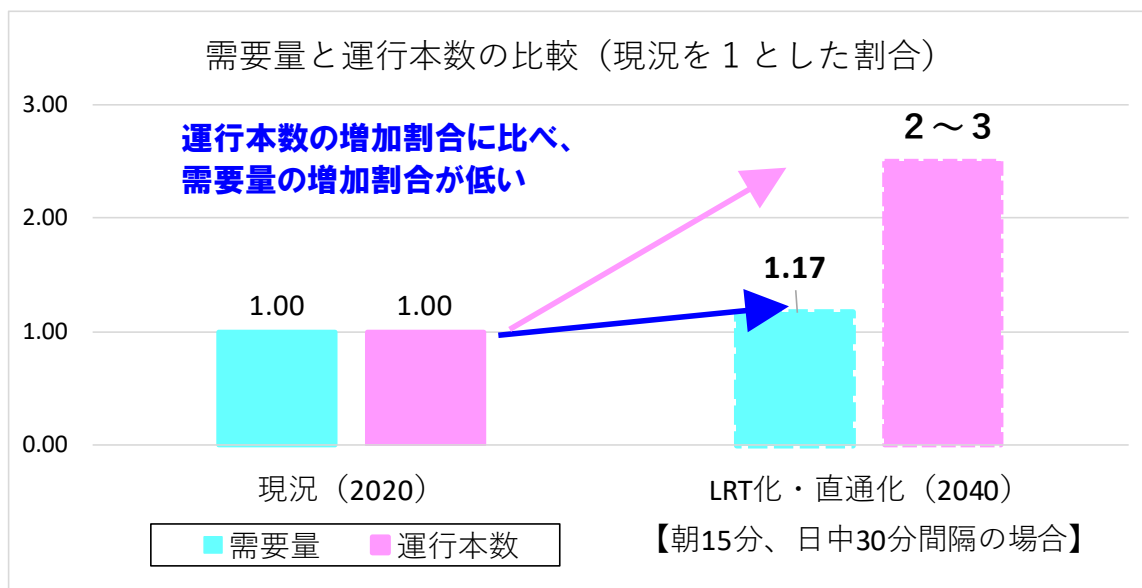


今後の検討課題について

需要予測結果からは、城端線・氷見線のLRT化・直通化及びサービス向上（運行本数増加）によって需要量が増加すると見込まれるが、いずれのパターンにおいてもその増加割合は、運行本数の増加割合に比べて低い。

よって、今後は、需要面の上積み要素となりうる新駅設置・まちづくりや観光面に加え、費用面としてLRT化・直通化や運行本数増加に要する事業費、さらにそれらを踏まえた事業の社会的効率性や成立性に関する検討を進めていく必要がある。



今後の検討課題

■需要面の検討

- ・新駅設置、周辺まちづくりによる需要
- ・観光需要（北陸新幹線延伸効果を含む）など

■費用面の検討

- ・LRT化・直通化、サービス向上に伴う事業費 など

■事業の社会的効率性や成立性に関する検討

- ・費用便益分析（B/C）
- ・採算性分析（収支検討）
- ・活用可能な支援制度、関係者間の費用負担 など